

社協だより 2026 10

—安心して暮らせる福祉のまちづくり—

NO.343

赤い羽根共同募金



10月1日 赤い羽根共同募金運動が始まります



表紙は、「益城町災害ボランティアセンター」で活動されたボランティアの皆さんと、応援に駆けつけてくださった町外の社会福祉協議会職員の皆さんです。町内にお住まいの方の姿もありました。ご自身も被災されながら、「地域に困っている人がいるから」と足を運んでくださいました。

10月からは、赤い羽根共同募金が始まります。募金から積み立てられる「災害等準備金」は、このセンターの運営にも活用されました。

社会福祉法人
益城町社会福祉協議会



赤い羽根共同募金運動

共同募金とは

赤い羽根共同募金は、令和8年度に80回目の運動を迎えます。始まりは戦後間もない昭和22年、「国民たすけあい運動」としてでした。令和9年度には開始から80年の節目を迎えます。

現在は社会福祉法に基づく地域福祉の推進を目的に、高齢者や子ども、障がいのある方への支援、災害時の支援など、地域の課題に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」です。

募金はどこへ？

お寄せいただいた募金は、全額熊本県共同募金会へ送金し、翌年度に広域配分と地域配分に分けて配分されています。

広域配分は、県内の社会福祉施設やNPO法人、保育所等に配分されています。

地域配分は、募金を集めた市町村の社会福祉協議会へ配分され、高齢者が安心して集える居場所づくりや、子育て世帯を支える活動、ボランティア団体の活動支援など、地域の皆さんの生活を支えるために活用されています。

八十年

ありがとう。
これからも一緒に。

どんな時代にも、そこには支える人たちがいました。
赤い羽根は、支える人たちに感謝し続けて80年。
今日も、この先のどこかで、支えあいを未来へとつないでいます。

支える人も支える募金

赤い羽根共同募金

上記ポスター内、右下記載の二次元コードを読み取ることで、スマホからも募金できます

災害時にも活用されています



お寄せいただいた募金は、災害時の運搬車両の確保などにも活用されています

大規模な災害が発生した場合には、全国の共同募金会があらかじめ積み立てている「災害等準備金」を、都道府県域を超えて拠出し合い、被災地を支えるしくみがあります。

令和8年熊本地震でも、全国から寄せられた募金が、災害ボランティアセンターの運営を支える力となりました。

日ごろの赤い羽根募金は、こうして遠く離れたまちの困りごとにも、そして自分たちのまちが困ったときにも、確かに届いています。

【災害等準備金とは】

毎年、災害に備え、各都道府県域ごとに募金額の3%を積み立てています。

益城町共同募金

委員会について

益城町共同募金委員会は、熊本県共同募金会から益城町社会福祉協議会が業務を受けて活動しています。

10月から「赤い羽根共同募金」、11月から「歳末たすけあい募金」を実施し、地域の皆さまや企業にご協力いただいています。



町のイベントでの募金活動の様子

益城町災害ボランティアセンター

全国からのご支援ありがとうございました！

7月28日に発生した令和年熊本地震を受け、益城町社会福祉協議会では7月29日に災害ボランティアセンターを開設し、9月11日をもって、すべての活動を終了しました。

期間中、県内外から延べ1,119人の方にご参加いただき、553件のご依頼に対応しました。なかでも力になってくださったのが、町内にお住まいの皆さんです。自宅の片づけもままならない中で、それでも「向こう三軒両隣」と手を挙げてくださる。その姿に、この町の力を見た思いです。



壊れたブロック塀の解体を専門技術で支えてくださった、福岡県のボランティア団体「決断」の武田さん 遠く福岡から駆けつけてくださいました



町内外からも多くの皆さんが益城町へ駆けつけてくださいました。本当にありがとうございました！

家財の運び出しに、災害ごみの搬出、住まいの片づけ。厳しい暑さの中、汗を流しながら黙々と手を動かしてくださる姿に、私たちも幾度となく励まされました。「助かりました」「一人ではどうにもならなかった」。届く声のたびに、人の手のあたたかさを感じます。軽トラックを出してくださった方、資機材や物資をお寄せくださった方、本当にありがとうございました。

社協では引き続き、生活に関するご相談をお受けしています。困りごとがありましたら、どうぞ一人で抱え込まずにご連絡ください。

シルバー人材センター 草刈班

地域を知る会員が、安全第一で丁寧に



『ありがとう』の言葉が、明日の元気の源になります



安全第一がモットーの草刈班メンバー

暖かくなると、あつという間に伸びてくるのが庭や空き地の草。「気になってはいるけれど、手が回らなくて」という声をよく聞きます。

そんなときに頼りになるのが、草刈班です。地域の事情に詳しい会員が、安全第一で丁寧に作業を進めます。ご自宅のお庭はもちろん、空き地や企業の敷地内まで幅広く対応し、刈った草の集積や処分まで承ります。

伸びてきた草木のことでお困りの際は、どうぞお気軽にご相談ください。

◎入会説明会を開催します！

「まだまだ元気に働きたい」「地域の役に立ちたい」。そんな健康で意欲のある方を対象に、入会説明会を開催します。

※事前にご連絡下さい

【日時】10月17日（土）10時～11時30分

【会場】益城町社会福祉協議会

益城町惣領1476の1番地

（Y.P.みらいえ内）

【対象】概ね60歳以上で

働く意欲のある方

【問合せ】シルバー人材センター

☎096-289-6092

ワークキャンプ

福祉を体験！

夏休み期間中、福祉施設などでの体験を通して福祉への興味・関心を深めていただくことを目的に、今年も「ワークキャンプ」を開催しました。参加されたのは、町内にお住まいの小学生から社会人までの30名。世代を超えて学び合う、にぎやかな時間となりました。

今回の開催にあたっては、地震直後の大変な時期にもかかわらず、町内の5つの福祉施設と2つの地域サロンに快く受け入れていただきました。ご協力いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。



真剣なまなざしで車椅子の操作を学びます



地域サロンで一緒にレクリエーション



歩くペースに合わせて、そっと見守り



利用者さんのお話に耳を傾けます



利用者さんと一緒に、ヨーヨーすくい！

福祉を「知る」たくさんの出会いと気づき

【参加された皆さんの感想です】
・「人見知りで自分からあまり話ができなかったけど、利用者さんが笑顔で接してくれてとても嬉しかった」

・「デイサービスの利用者さんとトランプやかるたを楽しむことができた」
・「施設のスタッフさんのひとつひとつの声掛けがとても大切だと学んだ」

・「サロンへ参加したときに、ある利用者が、体が不自由でも介護保険などの支援のおかげでサロンへ参加できていると話されており、介護保険についても興味が湧いた」

・「ワークキャンプに参加して耳や目の

不自由な方への対応がとても勉強になった」

・「とろみのあるお茶を提供する理由や血圧の低い方への対応などが学べ、将来福祉の仕事に就きたいと思った」
短い時間の中にも、たくさんの出会いと気づきがあったようです。来年もぜひご参加ください。



高校生も参加されました！



施設の食事準備



楽しいお昼ごはん

社協情報

■60歳からの

シニア応援セミナー

シルバー応援大使の大田黒浩一さんが益城町にやってきます。

「シルバーライフは楽しむばい」と題したトークショーのほか、防災収納インストラクターによる「片付けが命を守る！防災収納術」のセミナーもあります。参加無料、お気軽にどうぞ。

【日時】11月10日（火）13時20分～16時

【会場】ユナイテッドトヨタ

キズナアリーナ益城（益城町総合体育館）
（益城町木山236番地）

【対象】60歳以上でシルバー人材センター

に関心のある方

【締切】10月27日（火）

【問合せ】シルバー人材センター

☎096-289-6092



上の2次元コードから
も申し込みできます

◇実習生紹介

【氏名】熊本学園大学3年生

にしむらやま
西村優那さん



【趣味】旅行、カフェめぐり

【好きな食べ物】

アサイーボウル、お寿司

【益城町のいいところ】

人が温かく、地域のつながりが強い所

【社会福祉士を目指した理由】

保育士を目指すなかで、子どもに関わる福祉を深く学びたいと思ったため

【将来の目標】

両方の資格を活かし、人に寄り添える仕事をしたい

【実習の感想】

地域のつながりを大切にし、災害ボランティアセンターの運営にも取り組むなど、地域に寄り添うことを第一に考えていると実感しました。学んだことを今後活かしていきます。

《社協まつり中止のお知らせ》

令和8年10月24日（土）に開催を

予定しておりました「第4回社協まつり」は令和8年熊本地震の影響により、中止といたします。

開催を楽しみにして下さっていた皆さま、準備にご協力をいただいた皆さまには心よりお詫び申し上げます。

事前予約制
10/20 火

◇もの忘れ相談室

もの忘れ相談室では、認知症についての心配ことや悩みを、しっかりと聴きします。「まだ受診するほどではないかも」と迷われている段階で構いません。お話を伺ったうえで、必要に応じて、その方の状況にあったサポートを一緒に考えます。

【予約時間】①13時30分～②14時30分～

③15時30分～

【場所】役場1階相談室C

【問合せ】地域福祉課

☎096-214-5566

◇傾聴カフェ

一緒におしゃべりしましょう

お茶を飲みながら、一緒におしゃべりませんか。

おひとりでの参加も大歓迎です。特に用事がなくても、ふらりと立ち寄っていただける場所です。

どなたでもお気軽にご参加ください。



【日時】10月14日（水）9時～12時

【場所】町復興まちづくりセンター

「にじいろ」（益城町宮園702）

【参加費】無料

【問合せ】傾聴ボランティアましき（飯干）

☎090-7158-11025

予約不要
毎週水曜

◇心配ごと相談

町内の皆様の日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。

※予約不要（相談対応中の場合はお待ちいただくことがあります。あらかじめご了承ください）

【日時】毎週水曜10時～15時（12時～13時除く）

【場所】役場1階相談室D

住所（益城町宮園702）

【問合せ】在宅福祉課

☎096-214-5566

※相談員は左記の表をご覧ください。

※相談員は変更になる場合もあります。

日程	専門相談員	相談員	
10月7日（水）	松尾 一 （行政相談委員）		松本みゆき （民生児童委員）
10月14日（水）	松尾英美 （司法書士）	滝川朋子 （人権擁護委員）	楠田孝子 （民生児童委員）
10月21日（水）	松尾 一 （行政書士）		中島盛光 （民生児童委員）
10月28日（水）	松尾英美 （司法書士）		中嶋 豊 （民生児童委員）
11月4日（水）	松尾 一 （行政相談委員）		川北友宏 （民生児童委員）

～つながる地域・住みよいまち～ 地域サロン

町内の地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。
また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動に取り組んでいます。

惣領1町内

「ニコニコ健康サロン」場

開催日時：毎月第2金曜日 10時00分から

所：惣領1町内公民館



子どもたちとの交流も盛んで、世代を問わず誰でも気軽に立ち寄れる、明るく楽しい雰囲気のサロンです

畑中

「畑中あつまろう会」

開催日時：毎月第3金曜日 13時00分から

場 所：福田公民館



交通安全教室からフレイル予防の講話、レクリエーションまで企画は多彩。参加するのが楽しみになる、にぎやかなサロンです

2026
10
NO.343

発行 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会

会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1476-1

学びと支え合いの複合施設「YPみらいえ」内

TEL 096-214-5566 FAX 096-214-5567

ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

相談窓口



インスタ



MASHIKISHAKYO

※この広報紙は、震災で被災した紙を再生した『復興支援ペーパー』を使用しています（株式会社CAP/熊本市）